

「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

平成27年8月27日(木)発行

目次

- 1 会津地方推進本部会議について
- 2 頑張る農業者の取組紹介
- 3 会津農林事務所の取組紹介
- 4 今後の行事(イベント)等



「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動」会津地方かわら版について

平成25年12月20日に「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」会津地方推進本部が設立されました。

会津地方推進本部では、会津地方の農林業者の取組や、各部・所の取組、各種研修・イベント等の情報を発信するため、会津地方かわら版を発行しています。

会津地方推進本部会議について

○会津地方推進本部会議

平成27年7月17日、「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」会津地方推進本部会議が開催されました。

会津地方推進本部の構成員の方々に出席いただき、平成26年度事業実績及び平成27年度事業計画について説明をいただきました。

構成員の方々からは県産農林水産物の風評払拭に向けたイベントやPR活動の取組状況をお話いただきました。



推進本部会議のようす

○意見交換会

推進本部会議に引き続き、将来農業を担う若手農業者と本部構成員による意見交換会が開催されました。

猪苗代町つちや農園の土屋睦彦さん、喜多方市の大竹律子さん、会津若松市の小山要一さん、同市(有)すとう農産の須藤亜紀さんの4名に参加いただき、自身の取組内容や今後の計画等を発表いただきました。

つちや農園の土屋睦彦さんは、水稲、カラー、雪下キャベツの栽培に取り組んでいます。土屋さんからは米の価格が低下していることに対し、米は炊くだけで美味しく、栄養面でも優れているので、消費者には米の適正価格について考え直して欲しいとお話がありました。



若手農業者の4人

アスパラガスと水稲栽培に取り組む喜多方市の大竹律子さんは、地元の特産品をより多くの方に知って欲しいので、青年農業者クラブを通し情報発信に取り組みたいと話してくださいました。

会津若松市の小山要一さんはあいつ有機農法生産組合の監事を務めており、水稲や野菜栽培において有機農業に取り組んでいます。農業研修生を受け入れるなど、更に若い世代の育成にも積極的に取り組んでいます。

アイガモ農法に取り組む(有)すとう農産の須藤亜紀さんからは米のパッケージのデザイン性を高めたり、米ピアスを販売したり工夫して差別化を図っていることが発表されました。

若手農業者の発表に対し本部構成員からは将来の展望について等様々な質問が出され、活発な意見交換が行われました。

頑張る農業者の取組紹介



「おいしさ」を求めたグリーンアスパラガス栽培

喜多方市 大竹正彦さん 律子さん

喜多方市のアスパラガス農家、大竹さんご夫妻の取組を紹介します。

大竹正彦さんは、平成13年に働いていた東京から実家へ戻り、後継者として就農しました。平成20年に律子さんと結婚し、翌年には律子さんも仕事を退職し就農。夫妻が中心となりアスパラガスの栽培を行っています。

正彦さんは就農後すぐに認定就農者になり、同時期に、地域の若い農業者で構成するクラブ「サークルつばさ」に入会し、活動を積極的に継続してきました。現在は、正彦さんが副会長、律子さんが事務局長を務めるなど、クラブの中心的な役割を担っています。また、正彦さんはJA会津いいでグリーンアスパラガス部会喜多方・北塩原支部長を務めるなど、積極的に活動しています。

正彦さんが就農したのをきっかけに、平成15年にはハウス8棟を建設し、露地栽培だけではなく施設栽培にも取り組むようになりました。さらに、3年前には補助事業や制度資金等を活用してハウス4棟を新たに増設し、現在は露地栽培23a、20棟のハウスを利用した施設栽培51aまで規模を拡大しています。出荷先はJAが中心で、一部を直接販売しています。



大竹 正彦さん 律子さん ご夫妻



ハウスでアスパラガスを栽培するようす

○ 課題、今後の目標について

「今後の目標は、肥培管理等を改善し、年間を通し安定してアスパラガスを収穫できるようにすることです。品質面については、付加価値を付け差別化して販売したい。自信を持っておいしいアスパラガスを作りたい」と話してくださいました。

冬期間の仕事としては、加工（地域産業6次化）や苗作りを経営へ取り入れることや、秋頃に収穫して冬期間に加工ができる野菜等の栽培を考えているそうです。

○ 大竹さんからのメッセージ

「原発事故後は、もうアスパラガスを作ることができないのでは、と悩んだこともありましたが、東京の商談会へ出展して、おいしいものなら皆さん食べてくれる、おいしいものを作れば評価してもらえることを再認識しました。消費者の皆さんには、より新鮮なものをおいしく食べていただき、『おいしさ』で評価してもらいたい」と話してくださいました。

また、「若い担い手に、青年農業者クラブ『サークルつばさ』の存在を知ってもらい、農業を一緒にやっていく仲間になってもらいたい。そして、一緒に町づくり活動にも参画したい。」とも話してくださいました。

会津農林事務所の取組紹介

○「ふくしまの農育」推進事業 田んぼの学校を実施しました



用水路の生き物をつかまえる児童



去る6月30日に、会津美里町立新鶴小学校5年生児童23名と「ふくしまの農育」推進事業田んぼの学校の一環である、生きもの調査を実施しました。

学習田の用水路の中を網ですくってみると、カラドジョウやタイコウチ等に遭遇しました。学習田から少し離れた場所では、タイリクバラタナゴ、モツゴ、コガムシがお目見えます。

講師であるアクアマリンふくしま職員の春本さんが、児童たちに採取した生物の生態について分かり易く説明して下さいました。

調査後、身近な環境対策としてモリアオガエル等の生物に配慮したビオトープ池や、水路に小動物が落下した際に脱出できるアニマルスロープ、生物が水路内で過ごしやすい木柵水路について、会津宮川土地改良区の職員を講師に招いて授業を行いました。少し難しい内容のため理解してもらえなか心配でしたが、児童たちは目をキラキラ輝かせていました。

曇り空の下で鳴り響くカエルの合唱は、雨乞いを彷彿させるものでしたが、児童たちの思いが通じたのか降雨に見舞われることなく無事に行われました。

【会津農林事務所 農村整備部】

土地改良事業について学習する児童

○県産農林水産物安全・安心実感ツアーを実施しました

「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」では、県産農林水産物の安全性を知っていただくことを目的に県内各地でバスツアーを実施しました。会津地域では、去る8月6日、小学生の親子15組30名が参加し、安全・安心実感ツアーを実施しました。

まず、参加者は会津若松市内の「みのり果樹園」でブルーベリーの収穫体験をしました。例年お盆明けまで摘み取りができるブルーベリーですが、今年は猛暑の影響で熟期が早く、摘み取りが終わってしまった木も多かったのですが、参加者は楽しんで摘み取り体験をしていました。

次にJAあいづ西部営農センターへ移動し、トマトの放射性物質検査の様子を見学しました。参加者は熱心



放射性物質検査について説明を聞く参加者

に検査の方法を聞いていました。検査に使うサンプルが思ったより多いことに驚いた参加者もいたようです。また、営農センターの施設内も見学し、生産から流通、販売へ至る過程を学びました。

昼食は猪苗代町の農家レストラン「結」で地元のそばや野菜を使った料理を堪能しました。

最後に、アクアマリンいなわしろカワセミ水族館では、希少な淡水魚を見学しました。イワナやマスの餌付け、魚に触れあえるコーナーが子ども達に特に人気でした。

参加者は楽しみながら食の安心・安全に理解を深めていました。

【会津農林事務所 企画部】

○農業生産基盤の整備について

農業生産基盤の整備のため、会津若松市門田地区外8地区において「経営体育成基盤整備事業」を実施しています。

水田の大区画化が図られ、農作業や水管理の省力化・効率化が図られています。

※ 写真右側は従来からある水田。
写真中央が大区画化された水田。

【会津農林事務所 農村整備部】

会津若松市門田第4地区
水田の整備状況



今後の行事(イベント等)

○「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

県産農林水産物の消費拡大と地産地消の推進を目的にキャンペーンを実施します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

日 時：平成27年9月5日(土)

11:00～(なくなり次第終了します)

場 所：道の駅ばんだい エントランスホール

耶麻郡磐梯町大字磐梯字十王堂38番地

内 容：七日町イタリアン矢口シェフが作る会津地鶏・会津産夏野菜料理の試食(先着200名様程度)
アンケート回答者へ6次化商品プレゼント等(先着200名様)



おいしいふくしま
いただきます
Oishii Fukushima Itadakimasu

【会津農林事務所 企画部】

事務局では、「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」会津地方かわら版に掲載する情報を募集しております。掲載を希望する情報がありましたら、下記の【ご意見・お問い合わせ】の連絡先までご連絡ください。

○掲載内容

- ・「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」で展開している4つの運動(「食の安全・安心運動」、「生産再生運動」、「風評払拭・消費拡大運動」、「情報発信運動」)の取組について
- ・復旧・復興に関するトピックス、イベント情報、旬の話題、オススメ情報、その他広くお知らせしたい情報

【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局

(福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内)

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)

TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389

E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

